

例題 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

今日は、その事をなさんと^ア思へど、あらぬ急ぎ先づ^ま出^いで来て、まぎれ暮らし、待つ人は障^{さは}り有りて、①頼めぬ人は来たり、頼みたる方^{かた}の事は違^{たが}ひて、

イ思^いひよらぬ道ばかりはかなひぬ。わづらはしかりつる事はことなくて、

やすかるべき事はいと心苦し。日々に過ぎ行くさま、かねて思ひつるには似ず。

一年^{ひととせ}の中もかくの如^{ごと}し。②一生の間も又しかなり。

(「徒然草」による)

※あらぬ急ぎ↓ 予想していなかった急用

※心苦し↓ 気がかりである

※かねて思ひつるには似ず↓ あらかじめ思ったこととは似ても似つかない

問一 文中の「ア」思へど、「イ」思ひよらぬ」を
現代かなづかいに直しなさい。

「はひふへほ」 ↓ わいうえお

「るゑを」 ↓ いえお

解答

ア 思へど ↓ 思えど

イ 思ひよらぬ ↓ 思いよらぬ

問二 文中の「^①頼めぬ人」と反対の意味を表している
言葉を、文中から書き抜きなさい。

解答

待つ人

問三 文中の「^②一生の間も又しかなり。」の内容を
説明したものととして、最も適切なものを、
次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 人生では、以前から願っていたことが、なにげないきっかけで
成し遂げられるものである。

イ 人生では、自分が考えているのとは違った形で、物事が
進行してしまいがちなものである。

ウ 人生では、簡単に思える物事が、面倒でやっかいな事態に
なってしまうがちなものである。

エ 人生では、幸福と災いとが常に互い違いに現れ、
人々を一喜一憂させてしまうものである。

※しかなり ↓ そのとおりである

解答

イ

古文問題対策5つのポイント

ポイント①

会話文はテントの中

手順1 会話終了位置の「と」を探す

手順2 終了位置から遡って「、」を探す

古文問題対策5つのポイント

ポイント②

動作の主体整理（敬語による識別）

「 」の中に「給う」がある場合

「 」の外に申すがある場合

侍る・候が使われている場合

これらの場合は全て身分の低い者の動作言動となり
同一人物が主体となる

古文問題対策5つのポイント

ポイント③ 十の重要古語

をかし……趣がある	あはれ……しみじみとした趣がある
おぼゆ……感じる	いと……とても
げに……本当に	うつくし……かわいらしい
けしき……ようす	やうやう……次第に
めでたし……すばらしい	ありがたし……めったにない

古文問題対策5つのポイント

ポイント④ 仮名遣いのチェック

- ・指定範囲が長い場合は複数個所が該当する可能性有
- ・直してはいけない次の3つの仮名遣いに注意
 - 語頭にある「は・ひ・ふ・へ・ほ」
 - 助詞の「は・へ・を」
 - 現代語で使う「づ・ぢ」

古文問題対策5つのポイント

ポイント⑤

筆者の主張整理

随筆文の主張は最後の一文に注目

説明的文章の段落構成

- 1 問題を提起する段落
- 2 要旨(結論)を証明するための具体例の段落
- 3 具体例から要旨(結論)を導くまでの説明の段落
- 4 要旨(結論)をまとめる段落

現代文問題対策5つのポイント

ポイント①

内容理解についての設問や要旨をまとめる設問

最後の段落が多い(説明文は最初)

現代文問題対策5つのポイント

ポイント②

指示語についての設問

ほとんどは同じ文中や少し前の部分に
指す内容がある



答えを指示語に置き換えて文脈に沿うか確かめる

現代文問題対策5つのポイント

ポイント③

接続詞についての設問

接続詞を入れる空欄の、後の一文と前の一文をよく読む

逆接…しかし

順接…だから

要約…つまり

転換…ところで

対比・選択…それとも

並立・累加…そして



後の一文を読んでから、前の一文を読むと分かりやすい

現代文問題対策5つのポイント

ポイント④

字数指定の設問

例 本文より十字で抜き出さない



文中からそっくりそのまま

絶対に十字なので答えは絞られる

現代文問題対策5つのポイント

ポイント⑤

問題文はどこから読むか

設問から読んだほうが有利



全文を読まなくても解ける設問が多い

- ①漢字の読み書き
- ②語句の意味
- ③接続語を選ぶ
- ④文法などは必要部分の前後の一文で解ける